



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 株式会社ブルボン

上場取引所 東

コード番号 2208 URL <http://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理部長

(氏名) 山崎 幸治

TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	47,839	1.4	592	△34.5	579	△23.8	146	—
23年3月期第2四半期	47,163	△0.1	905	△17.4	760	△24.0	△143	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 169百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △350百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	6.13	—
23年3月期第2四半期	△5.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	60,715	32,821	54.1	1,367.99
23年3月期	62,383	32,698	52.4	1,368.50

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 32,821百万円 23年3月期 32,698百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
24年3月期	—	6.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,200	2.7	2,600	△14.4	2,800	△4.0	1,300	25.1	54.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	27,700,000 株	23年3月期	27,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,707,553 株	23年3月期	3,806,139 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	23,948,252 株	23年3月期2Q	24,120,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により低下していた産業活動や自粛ムードに持ち直しの動きが見られたものの、円高の長期化懸念、欧州における国家信用問題や米国の景気低迷、雇用と所得環境の悪化など不安定さが増す状況で推移いたしました。

菓子・飲料・食品業界は、震災の影響による一時的な需要の増加はあったものの、デフレ基調の継続、先行き不安から消費者の購買心理・消費行動は、引き続き慎重な姿勢となりました。また、一部の農水畜産物等から放射性物質が検出されたことにより、消費者の食への安全・安心の関心が一層高まり、選択志向が強まりました。

当社グループは、食品製造企業として安全・安心・安定および健康を基とした品質保証第一主義に徹し、実質価値の高い商品と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。

こうした状況の中、この度、グローバル化対応の一環として、米国に「Bourbon Foods USA Corporation」を設立し、ワシントンDCに事務所を開設いたしました。将来の事業展開に向けた調査や情報収集を行い、それらを見極めながら具体的な市場参入について検討を行ってまいります。また、放射性物質の自主検査体制構築による安全性対策の充実と品質の確保に万全を尽くすとともに、消費者の価値観や社会の変化に機敏かつ柔軟に対応し、継続的な新製品開発、需要を喚起する積極的な企画提案型の営業活動に努めてまいりました。

その結果、ビスケット品目、キャンデー品目、チョコレート品目、飲料品目などが伸張り、売上高は前年同期を上回りました。

利益面では、省エネルギー対応、販売費の効率的な使用やコスト低減活動などに努めたものの、原材料価格の高止まりやエネルギーコスト上昇などにより、営業利益、経常利益は前年同期を下回りました。また、四半期純利益は、前年同期に退職給付制度改定損の計上があったことなどにより、前年同期を上回りました。

### 営業品目別の概況

菓子の合計売上高は44,973百万円（対前年同期比101.1%）となりました。

- ビスケット品目は、生チョコや生キャラメルを使用したしっとりタイプの袋ビスケット商品やラスク商品が好評をいただきました。また、新キャラクター“プチクマ”をデザインしリニューアルしたプチシリーズ、家族で楽しめるファミリーサイズ商品群、品揃えを充実した箱入り半生商品群などが好調に推移し前年同期を上回りました。
- 豆菓子品目は、夏季向け商品の展開やリニューアルを実施したものの、新規性のアピールが弱く前年同期を下回りました。
- キャンデー品目は、キャラクターがユニークな袋キャンデー商品の品揃えを充実するとともに、新味を加えたフェットチネグミシリーズが引き続き大変好評をいただき前年同期を大きく上回りました。
- デザート品目は、ソースを充填した2層仕立てのソースINデザートシリーズに0（ゼロ）kcal商品を追加するとともに、彩り豊かに果実をミックスしたフルーツミックスシリーズを加えチルドデザート強化を図りました。くだものいっぱいゼリーシリーズや国産果実を使用したギフト商品なども好評をいただいたものの、新製品の発売タイミングが遅れたことなどにより前年同期を下回りました。
- 米菓品目は、国産米を100%使用した袋米菓商品が好評をいただきました。プチシリーズの米菓商品群に新味を加えるとともに、季節に合わせた味の展開やファミリーサイズ商品、メガサイズ商品にも取り組んだものの、加工米菓商品が伸び悩み前年同期を下回りました。
- スナック品目は、ハロウィンをデザインした商品やキャラクター商品を発売しました。野菜を用いた健康志向のポテトチップの展開や販売ルート限定商品にも取り組んだものの、既存品の伸び悩みなどにより前年同期を下回りました。
- チョコレート品目は、小箱チョコレート商品のアルフォートミニチョコレートシリーズ、ブランチュールミニチョコレートシリーズ、アーモンドラッシュが引き続き支持をいただきました。また、ブランチュールミニチョコレートにマイルドカカオを発売し、ファミリーサイズ商品群や袋チョコレート商品群が堅調に推移したことなどにより前年同期を上回りました。
- チューインガム品目は、強烈にすっぱいパウダーとジューシーな味わいが楽しめる板ガムのスッパチョップシリーズを発売しました。キューブ状のフルーツアソートガムや販売ルート限定商品のリニューアルなどにも取り組みましたが、既存品の低迷により前年同期を下回りました。

飲料・食品・その他の合計売上高は2,865百万円（対前年同期比106.2%）となりました。

- 飲料品目は、東日本大震災の影響によりミネラルウォーターへの需要が一時的に高まりました。牛乳でおいしくつめたいココアシリーズは、品質が評価されたことによる自動販売機等での取り扱いが増加しました。これらにより、全体でも前年同期を上回りました。
- 食品品目は、キャラクターをデザインしたミルクココアの新製品に取り組むとともに、リニューアルした「しょうがココア」が大変好評をいただきました。また、機能性食品は、バランス栄養食品スローバーシリーズの展開に取り組み、販売ルートの拡大を図ったものの、全体では前年同期に及びませんでした。
- その他品目では、通信販売事業は、定期購入サービスを開始するとともに、催事企画商品やダイレクトメールによる案内の強化、新規顧客の拡大に取り組みました。自動販売機事業は、多様な商品を総合的に取り扱うプチモールの展開、設置台数の増加に伴い伸張しました。また、酒類販売事業は、ビール需要期での拡販に努めました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47,839百万円（対前年同期比101.4%）、営業利益は592百万円（対前年同期比65.5%）、経常利益は579百万円（対前年同期比76.2%）、四半期純利益は146百万円（前年同期 四半期純損失143百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は60,715百万円となり、前連結会計年度末比1,668百万円の減少となりました。これは主に、需要期に向けてたな卸資産の増加があったことと、季節変動により受取手形及び売掛金の減少があったことによるものです。

負債合計は27,894百万円となり、前連結会計年度末比1,790百万円の減少となりました。これは主に、季節変動により支払手形及び買掛金の減少があったことと、法人税等の支払、借入金の約定返済があったことによるものです。

純資産は32,821百万円となり、前連結会計年度末比122百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益および自己株式の処分により増加があったことと、剰余金の配当を行ったことによる減少があったことによるものです。

### (連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは1,734百万円の収入（前年同期129百万円の収入、対前年同期比1,336.3%）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益524百万円および減価償却費1,833百万円があったことと、法人税等の支払額899百万円の支出があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,770百万円の支出（前年同期2,141百万円の支出、対前年同期比82.7%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,965百万円があったことと、在外子会社のリースバック等による有形固定資産の売却による収入494百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは431百万円の支出（前年同期569百万円の支出、対前年同期比75.7%）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出247百万円と配当金の支払額155百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ238百万円増加し、6,497百万円となりました。また、前連結会計年度末に比べ479百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月6日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,965	6,485
受取手形及び売掛金	13,139	9,622
有価証券	111	95
商品及び製品	3,051	4,761
仕掛品	493	583
原材料及び貯蔵品	2,536	2,803
その他	2,260	1,922
貸倒引当金	△112	△76
流動資産合計	28,445	26,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,515	8,431
機械装置及び運搬具（純額）	8,749	9,574
その他（純額）	8,214	7,768
有形固定資産合計	25,479	25,773
無形固定資産		
のれん	2,120	2,063
その他	493	536
無形固定資産合計	2,614	2,599
投資その他の資産		
その他	5,850	6,149
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	5,843	6,142
固定資産合計	33,938	34,516
資産合計	62,383	60,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,221	8,568
短期借入金	2,315	2,220
未払法人税等	936	530
賞与引当金	954	1,058
返品引当金	74	99
その他	7,374	6,786
流動負債合計	20,876	19,262
固定負債		
長期借入金	1,450	1,297
退職給付引当金	5,586	5,636
役員退職慰労引当金	162	163
資産除去債務	7	7
負ののれん	31	30
その他	1,571	1,495
固定負債合計	8,808	8,631
負債合計	29,685	27,894
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	7,232	7,326
利益剰余金	25,540	25,532
自己株式	△586	△572
株主資本合計	33,223	33,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	△328
為替換算調整勘定	△181	△173
その他の包括利益累計額合計	△524	△501
純資産合計	32,698	32,821
負債純資産合計	62,383	60,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	47,163	47,839
売上原価	27,716	28,700
売上総利益	19,447	19,138
販売費及び一般管理費	18,542	18,545
営業利益	905	592
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	33	34
負ののれん償却額	0	0
償却債権取立益	—	54
その他	47	50
営業外収益合計	92	150
営業外費用		
支払利息	25	34
減価償却費	30	15
為替差損	169	107
その他	12	5
営業外費用合計	236	164
経常利益	760	579
特別利益		
固定資産売却益	—	3
貸倒引当金戻入額	50	—
その他	0	—
特別利益合計	51	3
特別損失		
固定資産処分損	24	38
減損損失	4	5
災害による損失	—	2
災害支援支出	—	7
退職給付制度改定損	521	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
その他	62	2
特別損失合計	633	57
税金等調整前四半期純利益	177	524
法人税、住民税及び事業税	575	499
法人税等調整額	△254	△121
法人税等合計	321	377
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△143	146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△143	146

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△143	146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192	14
為替換算調整勘定	△14	8
その他の包括利益合計	△206	22
四半期包括利益	△350	169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△350	169
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	177	524
減価償却費	1,670	1,833
のれん償却額	72	57
受取利息及び受取配当金	△43	△44
負ののれん償却額	△0	△0
支払利息	25	34
為替差損益 (△は益)	157	126
固定資産処分損益 (△は益)	24	35
減損損失	4	5
災害による損失	—	2
災害支援支出	—	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,913	3,520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,877	△2,066
仕入債務の増減額 (△は減少)	△704	△655
賞与引当金の増減額 (△は減少)	98	103
その他	△1,029	△850
小計	1,510	2,634
利息及び配当金の受取額	47	44
利息の支払額	△25	△34
災害損失の支払額	—	△10
法人税等の支払額	△1,403	△899
営業活動によるキャッシュ・フロー	129	1,734
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,140	△1,965
有形固定資産の売却による収入	22	494
投資有価証券の取得による支出	△89	△224
その他	65	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,141	△1,770
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25	△0
長期借入金の返済による支出	△284	△247
配当金の支払額	△167	△155
その他	△92	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569	△431
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,600	△479
現金及び現金同等物の期首残高	8,858	6,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,258	6,497

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。